

# 第34期 中間報告書

平成24年4月1日から  
平成24年9月30日まで



## DRAGON'S DOGMA

株式会社カプコン

(証券コード 9697)





辻本 憲三

辻本 春弘

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第34期上半期(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資が堅調に推移しましたものの、欧州債務問題の再燃懸念や米国、中国経済の減速傾向に加え、長引く円高や株安などにより、景気はまだら模様ながら横ばい状態が続きました。

当業界におきましては、主戦場である家庭用ゲーム市場において、海外は弱含みに展開しましたものの、国内は昨年から今年にかけて新型携帯ゲーム機が相次いで登場

したことが奏功するなど、ハードの増加が市場全体を押し上げたこともあって、回復基調で推移いたしました。

一方、破竹の勢いで成長が続いてきたソーシャルゲーム市場は、コンパガチャ問題に端を発した利用限度額の制限などもあって、一時の勢いは弱まりましたものの、構造的な転換が進んでまいりました。

こうした状況下、当社においては、「ドラゴンズドグマ」(プレイステーション 3、Xbox 360用)が国内で健闘したほか、目玉タイトル「バイオハザード6」(プレイステーション 3、Xbox 360用)を9月末に出荷いたしました。

また、海外市場に照準を合わせたプライベートイベント「CAPTIVATE」(カプティベート)をイタリアで開催したほか、カプコンの最新作が体験できる「CAPCOM SUMMER JAM」(カプコン サマージャム)の催しや「モンスターハンター オークストラコンサートツアー」を全国6都市で公演するなど、各種イベントを実施いたしました。

加えて、人気ソフトとの相乗展開を図るため、「戦国BASARA」シリーズを実写ドラマ化したテレビ放送が開始されたほか、当社の旗艦ソフトである「バイオハザード」を題材にしたハリウッド映画「バイオハザードV リトリビューション」が日米をはじめ全世界で上映されるなど、メディアミックス展開により有力コンテンツの知名度向上やブランド価値の増大を図ることができました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高455億38百万円(前年同期比55.7%増)、営業利益65億15百万円(前年同期比134.2%増)、経常利益60億76百万円

(前年同期比218.5%増)、中間純利益41億25百万円(前年同期比355.1%増)となりました。

なお、中間配当につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、ソーシャルゲーム市場の存在感が高まる環境下、縮小傾向が続いたパッケージソフト市場も大型タイトルが相次いで登場することにより盛り返すことが想定されるなど、スマートフォンと家庭用ゲーム機との棲み分けが進むものと思われれます。

また、ハードの標準化を巡って顧客獲得のための熾烈な攻防戦が繰り広げられるとともに、主導権争いはますます激化する一方、全体を俯瞰すればゲーム市場の規模は拡大するものと予想されます。

こうした情勢のもと、当社は家庭用ゲーム機やスマートフォン、パソコン等の各プラットフォームに魅力のあるソフトを供給するため、看板タイトルの強化や提携ソフトの充実により商品ラインナップの拡充を図るなど、顧客満足度の向上や競争優位性を確保し、新規市場の開拓や既存市場の深耕に注力してまいります。

加えて、持続的成長を推し進めていくためには、人的資源の拡充が欠かせないため、中長期的な視点に立った人事戦略にもとづき、優秀な人材の確保、育成に鋭意努めてまいります。

さらに、成長シナリオを実現するためには、海外展開の拡大が不可欠であります。成長余力のあるアジアにおいて、同地域初の開発拠点を台湾に開設したほか、現地

の有能な人材の獲得や発掘により、海外の多様な顧客ニーズに即応できる体制の構築に取り組んでまいります。

他方、東南アジア市場の開拓に本腰を入れるため、インドネシアで携帯電話やスマートフォン向け配信事業を開始するほか、子会社を通じてタイに現地法人を設立するとともに、関係会社との連携による訴求力のあるタイトルを供給するなど、グループ全体のベクトルを合わせた事業展開によりアドバンテージを築いてまいります。

下期は大型タイトルの「バイオハザード6」(プレイステーション 3、Xbox 360用)や「ディーエムシー デビルメイ クライ」(プレイステーション 3、Xbox 360用)の投入など、環境の変化に対応した商品ポートフォリオにより、本格的な攻勢をかけてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

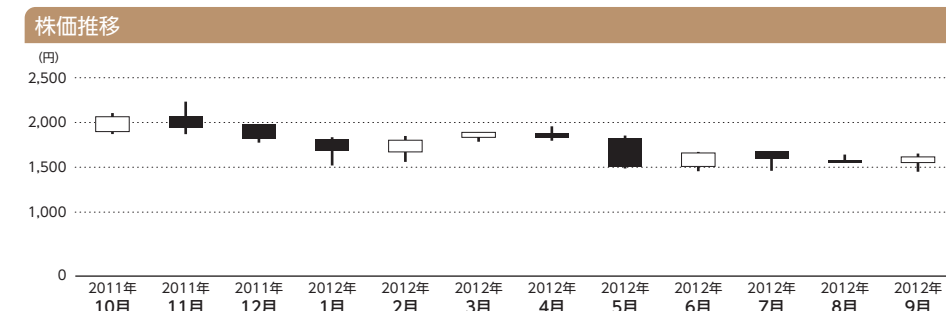
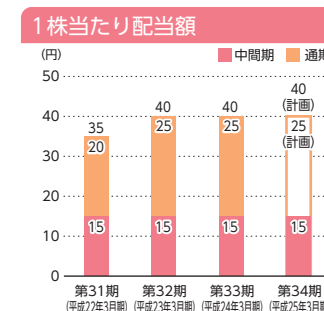
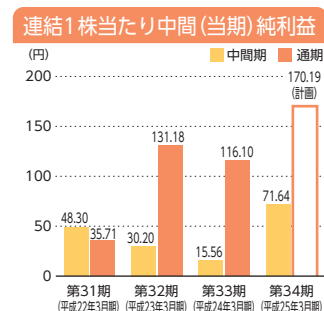
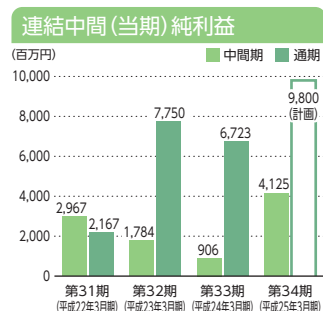
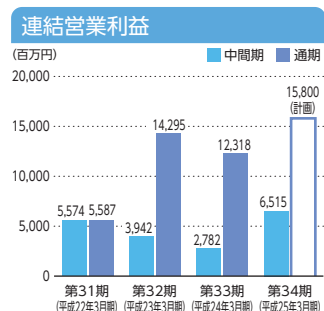
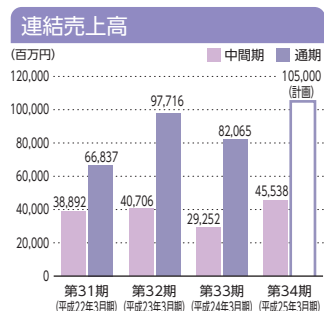
平成24年11月

代表取締役会長  
最高経営責任者(CEO)

辻本憲三

代表取締役社長  
最高執行責任者(COO)

辻本春弘



●デジタルコンテンツ部門

主カソフト「バイオハザード6」(プレイステーション 3、Xbox 360用)が堅調な出足を示したほか、初のオープンワールドゲームである「ドラゴンズドグマ」(プレイステーション 3、Xbox 360用)が採算性の高い国内市場において予想以上のヒットを放ち、近年のオリジナルタイトルとしては、異例のミリオンセラーを達成しました。

また、前期に発売した「バイオハザード オペレーション・ラクーンシティ」(プレイステーション 3、Xbox 360用)も手堅く伸ばいたしました。加えて、ダウンロードコンテンツも安定した人気に支えられ収益向上に寄与いたしました。

一方、ソーシャルゲーム市場は、プラットフォームがフィーチャーフォン(従来型携帯電話)からスマートフォン(高性能携帯電話)への移行が進む中、前期にモバゲー向けに配信した「みんなとモンハン カードマスター」が引き続き底堅い売上を示すとともに、同じくグリー向けに供給した「バイオハザード アウトブレイク サバイヴ」が着実に新規ユーザーを増やしたことにより会員数は200万人を突破したほか、「戦国BASARAカードヒーローズ」を提供いたしました。

さらに、戦略ブランドであるビーラインタイトルの「スマーフ・ビレッジ」や「スヌーピー ストリート」などの人気コンテンツが幅広い利用者の獲得により息の長い配信収入を得るなど、ソーシャルゲームが好調に推移いたしました。

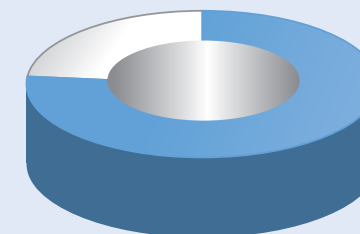
また、「モンスターハンター フロンティア オンライン」シリーズも安定した収益を確保しました。

この結果、売上高は349億93百万円(前年同期比69.1%増)、営業利益57億77百万円(前年同期比83.1%増)となりました。

売上高構成比

平成24年9月期

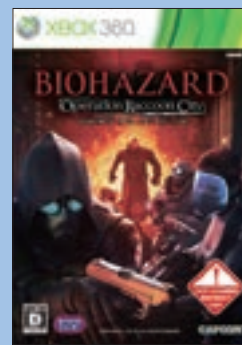
76.8%



「バイオハザード6」  
(プレイステーション 3、Xbox 360用)



「ドラゴンズドグマ」  
(プレイステーション 3、Xbox 360用)



「バイオハザード オペレーション・ラクーンシティ」  
(プレイステーション 3、Xbox 360用)



「バイオハザード アウトブレイク サバイヴ」



「戦国BASARAカードヒーローズ」



「モンスターハンター フロンティア オンライン フォワード.4」  
(パソコン、Xbox 360用)

## ●アミューズメント施設部門

「地域一番店」を旗印に各種イベントの開催やサービスデーの実施に加え、高齢者を対象にした体験ツアーや会員制度の導入を行うなど、趣向を凝らした集客展開により新規ユーザーの開拓、リピーターの確保等、客層の拡大に取り組むとともに、不採算施設の閉店など、戦略的な店舗展開を押し進めてまいりました。

しかしながら、顧客誘引商品の不足や前年同期における東日本大震災後の需要増による反動減を避けられませんでした。

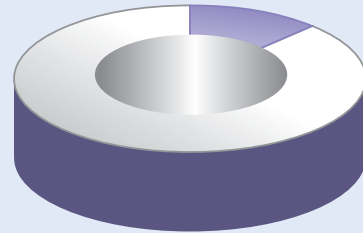
当期は、不採算店2店舗を閉鎖しましたので、当該期末の施設数は35店舗となっております。

この結果、売上高は56億30百万円(前年同期比7.0%減)、営業利益9億86百万円(前年同期比19.4%減)となりました。

### 売上高構成比

平成24年9月期

12.4%



## ●アミューズメント機器部門

業務用機器につきましては新型メダルゲーム機「マリオパーティ くるくる!カーニバル」を投入したほか、「モンスターハンター メダルハンティング」など、既存商品主体の販売展開を行いました。

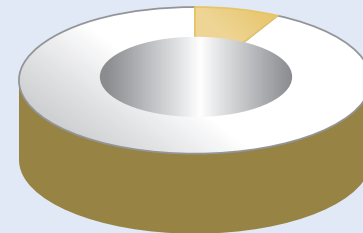
また、遊技機向け関連機器は、受託ビジネスの拡大に努めてまいりました。

この結果、売上高は35億94百万円(前年同期比216.3%増)、営業利益13億36百万円(前年同期は営業損失2億16百万円)となりました。

### 売上高構成比

平成24年9月期

7.9%



## ●その他部門

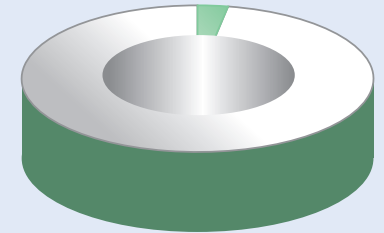
主なものはキャラクター関連のライセンス事業で、売上高は13億20百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益4億97百万円(前年同期比6.3%減)となりました。



### 売上高構成比

平成24年9月期

2.9%



「プラサカプコン成田店」



「マリオパーティ くるくる!カーニバル」

©CAPCOM CO., LTD. 2012 ALL RIGHTS RESERVED.  
 ©CAPCOM 2011  
 ©CAPCOM CO., LTD. 2012 ALL RIGHTS RESERVED. Developed by KLabGames  
 ©CAPCOM CO., LTD. 2007, 2012 ALL RIGHTS RESERVED.  
 Licensed by Nintendo  
 © 2007 Nintendo / © 2007 HUDSON SOFT  
 ©CAPCOM CO., LTD. 2012 ALL RIGHTS RESERVED.



中間連結貸借対照表


(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (平成24年9月30日現在)	前中間期 (平成23年9月30日現在)	前 期 (平成24年3月31日現在)	科目	期別	当中間期 (平成24年9月30日現在)	前中間期 (平成23年9月30日現在)	前 期 (平成24年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>					<b>【負債の部】</b>				
流動資産		79,788	63,618	75,038	流動負債		34,324	25,976	29,327
現金および預金		26,131	27,401	24,752	支払手形および買掛金		9,829	5,937	7,257
受取手形および売掛金		15,706	5,481	17,285	短期借入金		11,546	8,711	7,259
たな卸資産		6,570	3,934	3,654	賞与引当金		206	204	2,111
ゲームソフト仕掛品		23,922	18,437	22,373	その他		12,742	11,123	12,699
繰延税金資産		3,569	5,341	4,239	固定負債		9,618	6,959	9,567
その他		3,949	3,063	2,791	長期借入金		6,002	3,288	6,145
貸倒引当金	△ 60	△ 40	△ 58	その他		3,616	3,670	3,422	
固定資産		25,102	22,596	23,208	負債合計		43,943	32,935	38,895
有形固定資産		12,484	12,943	12,844	<b>【純資産の部】</b>				
建物および構築物		4,991	5,447	5,125	株主資本		68,734	61,096	66,049
アミューズメント施設機器		1,512	1,633	1,637	資本金		33,239	33,239	33,239
建設仮勘定	101	—	—	資本剰余金		21,328	21,328	21,328	
その他	5,877	5,862	6,081	利益剰余金		30,013	22,374	27,328	
無形固定資産		6,081	3,000	3,911	自己株式	△15,847	△15,846	△15,846	
投資その他の資産		6,536	6,652	6,452	その他の包括利益累計額	△ 7,786	△ 7,816	△ 6,697	
投資有価証券		346	374	368	その他有価証券評価差額金	△ 71	△ 78	△ 46	
繰延税金資産		877	1,157	908	為替換算調整勘定	△ 7,714	△ 7,737	△ 6,650	
その他		5,588	5,494	5,451	純資産合計		60,948	53,280	59,352
貸倒引当金	△ 275	△ 373	△ 275	負債純資産合計		104,891	86,215	98,247	
資産合計		104,891	86,215	98,247					

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高		45,538	29,252	82,065
売上原価		28,077	17,485	49,596
売上総利益		17,460	11,767	32,469
販売費および一般管理費		10,945	8,985	20,150
営業利益		6,515	2,782	12,318
営業外収益		125	189	289
受取利息および配当金		44	46	95
その他		80	143	194
営業外費用		565	1,063	788
支払利息		50	56	115
その他		515	1,007	673
経常利益		6,076	1,907	11,819
特別利益		—	—	8
特別損失		28	111	402
税金等調整前中間(当期)純利益		6,047	1,796	11,425
法人税、住民税および事業税		1,205	1,045	3,513
法人税等調整額		717	△ 155	1,188
少数株主損益調整前 中間(当期)純利益		4,125	906	6,723
中間(当期)純利益		4,125	906	6,723



表紙の説明

**「ドラゴンズドグマ」**  
(プレイステーション 3, Xbox 360用)

剣や魔法の登場するファンタジー世界を舞台に、広大なオープンワールドを冒険するアクションRPGです。プレイヤーはドラゴン退治を目的とする旅をしながら、様々な謎を解き明かしていきます。オリジナルブランドとしてはこの10年間で最高の国内初週販売記録となる出荷を示すなど、全世界で120万本を出荷いたしました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		1,740	△ 4,836	△ 7,672
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 1,586	△ 810	△ 4,794
財務活動による キャッシュ・フロー		2,542	202	587
現金および現金同等物 に係る換算差額		△ 1,180	△ 2,165	△ 845
現金および現金同等物 の増減額		1,515	△ 7,610	△ 12,724
現金および現金同等物 の期首残高		22,287	35,011	35,011
現金および現金同等物 の中間期末(期末)残高		23,803	27,401	22,287

財務ハイライト  
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報  
会社データ

会社の概要 (平成24年9月30日現在)

社名 **株式会社カプコン**  
(CAPCOM CO., LTD.)  
設立 昭和54年5月30日  
主要な事業内容 家庭用テレビゲームソフト、オンラインゲーム、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売ならびにアミューズメント施設の運営  
資本金 332億39百万円  
従業員数 連結2,385名(単体1,782名)  
ホームページ <http://www.capcom.co.jp/>

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数 67,723,244株
- 株主数 17,508名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社クロスロード	5,276	9.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,603	7.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,514	7.84
818517ノムラルクスマルチカレンシジエイピストクリド	2,422	4.21
辻本憲三	2,007	3.49
辻本美佐子	1,964	3.41
辻本美之	1,669	2.90
辻本春弘	1,547	2.69
辻本良三	1,545	2.68
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,470	2.55

(注)持株比率については、自己株式数(10,139千株)を控除して算出しております。

取締役および監査役 (平成24年9月30日現在)

代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	辻本憲三
代表取締役社長 最高執行責任者(COO)	辻本春弘
取締役副社長執行役員 最高財務責任者(CFO)	小田民雄
取締役専務執行役員	阿部和彦
取締役専務執行役員	山下佳文
取締役専務執行役員	一井克彦
取締役	初野純孝
取締役	飛澤宏
取締役	保田博
取締役	松尾真
取締役	守永孝之
監査役(常勤)	平尾一氏
監査役(常勤)	岩崎吉彦
監査役	家近正直
監査役	松崎彬彦

(注) 1. 取締役 保田 博、松尾 真および守永孝之の各氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役 岩崎吉彦および松崎彬彦の両氏は、社外監査役であります。  
3. 取締役 保田 博および守永孝之の両氏は、株式会社東京証券取引所および株式会社大阪証券取引所の定める独立役員であります。

●カプコンIRサイトのご案内 <http://www.capcom.co.jp/ir>

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者インタビューや、アナリストコンセンサスなど様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて各評価機関より高い評価をいただいております。



最新情報

いま注目すべきIR情報を中央に表示していることに加え、新着情報やプレスリリースなどの最新情報を素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

ソーシャルメディア CAPCOM IR 公式アカウント

TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアを通じてプレスリリースや新聞・テレビでのメディア掲載情報などを発信しております。

個人投資家の皆様へ

当社をより深くご理解いただけるよう「カプコンの強み」や「事業内容」などをわかりやすくご説明しております。

カプコンIRメール

メールアドレスをご登録いただけますと、プレスリリースや決算資料などの最新情報をメールにてお知らせいたします。

『アニュアルレポート 2012』発行

経営トップ自らが、中長期課題に対する具体的施策をQ&A方式にて明快に解説しております。また今後の事業戦略について、成長分野であるオンライン事業への取り組みや強みである多メディア展開の更なる強化など、安定成長に向けた様々な取り組みを詳解しており、投資家の皆様により理解を深めていただくため内容の充実を図っております。ご希望の方は当社広報IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。なお、オンライン版も掲載しておりますので、併せてご覧ください。株式会社カプコン 秘書・広報IR部 広報IR室 電話06-6920-3623

携帯・スマートフォンからもIR情報へアクセス

当社の業績概要や株式情報が携帯電話やスマートフォンからも閲覧できます。スマートフォンからは上記IRサイトに直接アクセスしてご覧いただけます。携帯電話は右のQRコードを読み取るか右記URLよりご覧ください。 <http://2mobile.jp/9697>

※読み取り方法についてはお手持ちの携帯電話取扱説明書をご覧ください。



## ●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金受領株主日 3月31日

中間配当金受領株主日 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話(通話料無料)0120-094-777

公告方法 電子公告

当社のホームページ(<http://www.capcom.co.jp/>)に掲載します。

ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所

株式会社大阪証券取引所

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。  
株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。  
なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インキを使用しております。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。